

2010年1月 第333号



スズキ労連

2010年
1月号

静岡県浜松市南区小沢渡町12-1
電話〈053〉447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤幸博
編集人 光田 玄

自動車総連組織内議員 なおしま正行

昨年8月に行なわれた衆議院議員選挙において、支援する民主党が圧勝し、55年体制の終焉という歴史的結果となり、念願の政権交代が実現しました。しかし、私たちが安心して暮らせるように勤労者、生活者、納税者の視点に立った政策が確実に実現するためには民主党の政権基盤をより確かなものにする必要があります。私たちの声を伝える次の国政選挙となる第22回参議院議員選挙が今年7月に施行されますが、その選挙において自動車総連組織内議員である「なおしま正行」候補をスズキ労連の組織内候補者と位置付け応援してまいります。今後、機関誌面において、「なおさん」の素顔や活動、また参議院議員選挙の仕組み等について紹介してまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

自動車ユーザーの代表として
国政に邁進します。



なおしま正行 プロフィール

- 出身地 大阪府池田市
- 生年月日 昭和20年10月23日
- 経歴 神戸大学経営学部 卒
トヨタ自動車販売（現トヨタ自動車株入社）
トヨタ労連 調査局長 組織局長 歴任
自動車総連 産業対策局長 事務局次長 歴任
自動車総連 副会長
- 議員歴 平成4年7月 参議院議員 初当選
平成10年7月再選 再選
平成16年7月 三選
議員運営委員会理事、運輸委員会委員長、
決算委員会筆頭理事 等
- 党歴 参議院国会対策委員長、参議院幹事長、政策調査会長 等
- 現職 経済産業大臣

平成22年 新年のご挨拶

輝く新春を迎え、皆様のご清栄を心からお慶び申し上げます。
スズキ労連の皆様におかれましては、日頃から温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年総選挙では、国民の皆さんに勇気をもって「政権交代」をご選択いただき、日本の政治は新たな一歩を踏み出しました。鳩山新政権の下、私も経済産業大臣を拝命してから既に100日程が経ちますが、地球全体に関わる環境問題や、日本におけるエネルギーの安定確保に向け、多くの海外出張で各国の担当大臣などと意見交換を行って参りました。また、日本を着実な経済成長へと導くべく、有識者を交えて日本の新産業育成・成長戦略の策定にも着手しております。加えて、現下の厳しい経済・雇用情勢の中、景気回復や雇用創出のための政策、あるいは中小企業の支援など、喫緊の課題への対応にも引き続き汗をかいて参ります。これら一連の政策を実現することで、国民の皆様が将来に希望をもて、日本の経済・産業が再び力強さを取り戻すものと確信しております。是非ともご期待いただきたいと思います。

さて、今年皆様もご承知のとおり参議院選挙の年です。
民主党の掲げる「国民の生活が第一。」を確実に実践するためには、政権の安定が何よりも重要です。私自身も皆様からいただいた推薦を背に4期目への挑戦をいたします。国民目線の政治を実現するため、全身全霊をかけて取り組みますので、皆様の絶大なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
末筆ながら、本年が皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念申し上げます。



経済産業省 大臣室にて

経済産業大臣 参議院議員 直嶋正行

どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

スズキ労連
労働相談
窓口

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~19:00
相談無料・秘密厳守

**【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望が
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。**

編集部 〒432-8063 浜松市南区小沢渡町12-1
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

【編集後記】新年あけましておめでとうございます。厳しいままで終わった2009年でしたが、今年は皆さんにとって少しでも明るい年となりますように、労連のより充実した活動に向けて小生も微力ながら尽力する所存です。まずは自分に厳しく!今年こそ禁煙を貫徹するぞ!!...という気持ちを大切に着実な前進を図ります!?(次長2)

謹賀新年

みんなで元気に新たなチャレンジ! 安心な生活を築こう!

スズキグループで働く組合員とご家族のみなさん、あけましておめでとうございます。旧年中は、スズキ労連の諸活動に対して深いご理解とご協力をいただき心より感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援をお願いいたします。

スズキ労連 会長 加藤幸博



さて、昨年は金融危機の深刻化によって世界経済は急激に悪化し、各企業の事業環境も私たち組合員の生活環境も激変し極めて厳しい状況となりました。また、これまでの国の政策や行き過ぎた自由主義に対して政権交代が起きるなど、人として生きるという価値観や日本の強みを見直す意味で大きな変化が起きた年であったと思います。

迎えた本年は、厳しい経済・雇用・財政状況の中で、スズキグループを取り巻く様々な課題に対して、みんなで前を向いて元気にチャレンジしていく年であると捉えています。

そして、そのチャレンジしていく原動力は、なんとと言っても働くひとり一人の持つ活力であり、スズキ労連として、働くひとり一人が、常にいきいきと働くことのできる環境整備に向けての提言や活動を進めてまいります。

また、全国で働く24,000人の仲間ひとり一人とのつながりを更に重視し、労働相談窓口や情報提供などの充実を図りながら、常に皆様の拠りどころとなるスズキ労連としての存在を高めていきたいと思っております。

今、日本もスズキグループも過去に経験の無い、多くの困難と課題に直面していますが、スズキ労連全員の知恵と力で、生活を守り高めていくための活動と社会全体に目を向けた活動を展開し、みんなで元気に安心な生活を築いていきましょう。

本年もスズキ労連執行部一同全精力を傾注してまいりますので、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

政治顧問	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博
中央執行委員	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博
事務局長	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博
事務局次長	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博
副会長	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博
スズキ関連労働組合連合会 スズキ労連・役員一同	田口章	嶋津吉宏	青島智久	春田雄一	番場健一	尾藤慶二郎	小杉尚	武藤憲司	山本正人	池富彰	坂本幸雄	宇野陽二	山本寿	鷺塚三樹	太田賢司	白井康晴	堀順一	嶋田満	菅沼伸好	佐藤真一	平塚訓孝	鈴木隆文	西岡英治	鈴木圭	桑野昇	光田玄	眞子仁	根木一暢	森崎一郎	古川正明	秋場和彦	内山寿之	加藤幸博

パラダイム・チェンジ

新春を寿ぎ、謹んでごあいさつ申し上げます。
旧年中は大変お世話になりました。本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

昨年は、国政では「政権交代」という大きな変化がありました。これを機に社会の変化に対応できる政治システムを再構築してもらいたいものです。
しかしその後の3ヵ月余を見てわかるとおり、これまで続けてきたことを新たに変わっていくというのは、本当に大変なことであることがわかります。

地方に目を向けますと、少子高齢化はますます進み、さらに生活保護世帯が増えるなど、社会保障給付の増大は不可欠の状態です。
さらに浜松市を中心とする遠州から東三河にかけては、一昨年後半から、大変厳しい経済環境が続く、浜松市では平成20年度1369億円だった市税収入が、21年度100億円、22年度もさらに100億円の減収見込みとなっており、一層の行財政改革は不可欠です。
こうした厳しい状況の中、私たちはどう取り組んでいくべきでしょうか。

「パラダイム・チェンジ (Paradigm Change)」は、もう10年ほど前になるでしょうか、経済産業大臣の直嶋正行参議院議員が使っていた言葉です。厳密な言葉の定義はないようですが「発想や立ち位置を根底から変える」というようなイメージと思います。

今年はトラ年。私は「年男」となります。
トラのように勇猛果敢に行動するとともに、「パラダイム・チェンジ」を常に意識し、この1年、取り組んでいきたいと思っております。今年もよろしくお願い申し上げます。

スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。



「おもいやりなき世をおもしろく、
「今より早いときはないがモーターです。」
浜松市議会議員 田口 章

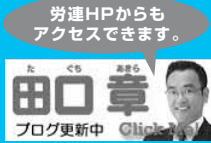
浜松市議会議員「田口 章」です。
民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよく分かります。コメントも書き込めますので、皆さんのご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。



第22回参議院議員選挙候補予定者(スズキ労連推薦)

藤本祐司 参議院議員からのご挨拶

みなさん、明けましておめでとうございます。2010年の新年を迎え、一昨年の秋の世界同時不況に始まった景気の停滞を乗り越えて、今年は明るい年にしていきたいと決意を新たにしています。

昨年の夏、川勝県政と鳩山政権が誕生しました。皆様の支援の賜と感謝いたします。私も鳩山内閣で国土交通大臣政務官に任命され、怒濤の3ヶ月余を体験しました。与党としての責任の重さを実感しております。

戦後初の選挙による政権交代によって、日本の政治は大きく変わりつつあります。「官僚依存」の政治から脱し、国民の皆さんに選んでもらった国会議員が政治を主導する政治へと大きく転換しつつあります。また、中央集権ではなく、地方に住む人たちが自ら判断できるような地域主権型社会を築きつつあるのです。まさに「国民が主人公」の当たり前の民主国家へと変わりつつあるのです。

政権交代は、国民の皆様が意識を変え、選択を変えてくださった結果です。次は、私たち政治家が仕組みを思い切って変えていく番です。誰かが得する社会ではなく、誰もが幸せに暮らせる社会を創っていくために一緒にがんばりましょう。

ところで、話は変わりますが、今年の7月には参議院議員選挙があります。私、藤本ゆうじにとっては2期目の挑戦です。昨年の政権交代の効果を高めるためにも、私の参議院議員としての6年間の実績を活かしてさらに日本再生に貢献するためにも、皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



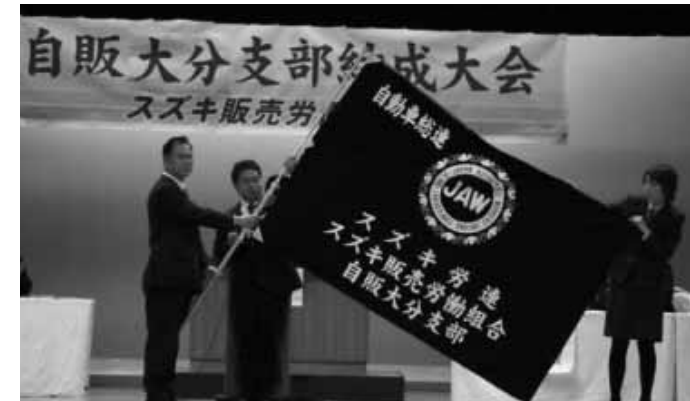
「藤本祐司参議院議員 プロフィール」

- 1957年2月16日 浜松市生まれ
- 学歴
聖母幼稚園入園(静岡市)、静岡市立城内小学校入学(現葵小)、熱海市立第二小学校卒業、沼津市立第一中学校卒業、県立沼津東高等学校卒業、早稲田大学法学部卒業、ミシガン州立大学大学院コミュニケーション学科修士課程修了
- 職歴
1980年 富士緑苑株式会社(御殿場市神山・観光レジャーおよびホテル)入社
1989年 三和総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))入社。国土・地域政策部部長兼主任研究員。専門は国土・地域政策、都市政策、特に観光政策。
2004年 第20回参議院議員通常選挙(静岡県選挙区)にて当選
2006年 静岡大学客員教授
- 民主党での主な役職・委員会等
民主党常任幹事、「次の内閣」国土交通副大臣および内閣府担当副大臣、決算・行政監視調査会事務局長、国土交通委員会理事、消費者問題に関する特別委員会理事 などを歴任
- 【現職】
国土交通大臣政務官(第一次鳩山内閣)
参議院 国土交通委員会委員

スズキ販売労働組合 自販大分支部が結成!



九州で5番目の支部、スズキ販労として37番目の支部、自販大分支部結成のニュースです。昨年は販労支部の結成大会ラッシュ(なんと18支部!)の年となりましたが、この大分支部が最後の結成大会となりました。12月7日(月)、「JA大分市会館 府内ホール」にて自販大分支部結成大会が開催され、新たに137名の仲間が新たにスズキ労連に加わりました。折りしも冬の一時金が支給されて間も無くの開催となり、大会の締めで行なった「がんばろう三唱」では、来期の業績向上とそれに伴った一時金水準の向上に向けて、全員気合を込めて「ガンバロー!」と唱和していました。早くも強い一体感を醸し出した自販大分支部。今後も全員参加の活動を期待しております。



支部旗を受取る中川支部執行委員長(中央)

スズキ販労 自販大分支部

支部結成日 : 12月7日
支部執行委員長: 中川 昌治
組合員数 : 137名
大分県はライバル会社の大きな工場があり、非常に厳しい市場。組合結成が働くモチベーションの向上に繋がればいいですね。

仕事と育児・介護の両立支援を目指して… 育児・介護休業法の改正されます!

少子化の流れを変え、男女ともに子育てや介護をしながら働けることができる社会を目指して、2010年6月より育児・介護休業法が改正されます。スズキ労連の2009年労働諸条件改善の取り組みでも、改正労働基準法とともに、この法改正への対応を労使で確認することを方針に掲げて取り組みを推進しており、上記スズキ労働組合の要求に対する会社回答にも今後の対応について示されました。今回は仕事と育児・介護の両立支援を一層推進するために整備された改正法の内容をご紹介します。

【主な改正項目】

- ①子育て期間中の働き方の見直し
 - ア)短時間勤務制度の義務化
 - ・3歳に達するまでの子を養育する労働者に対する措置義務。
 - イ)所定外労働の免除の義務化
 - ・3歳に達するまでの子を養育する労働者の請求により所定外労働が免除されるよう制度の拡充。
 - ウ)子の看護休暇制度の拡充
 - ・小学校就学前の子1人の場合5日、2人以上は年10日以上とし、子供の予防接種、健康診断の受診を取得理由として認める。
- ②父親も子育てができる働き方の実現
 - ・母とともに育児休業を取得する場合、取得可能期間を子が1歳から1歳2ヶ月まで延長できる。(パパママ育休プラス)
- ・妻の出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、特例として再取得を認める。
- ・育児休業や時間外労働の制限等における労使協定による専業主婦(夫)除外規定を廃止し、すべての父親が必要に応じ取得可とする。
- ③介護短期休暇制度の創設
 - ・要介護状態の家族1人であれば5日以上、2人以上は年10日以上取得可能とする。
- ④育児休業の再取得
 - ・改正育児・介護休業法では、長期に亘る子供の疾病発覚、保育サービスが受けられないなどの事由により再取得を認める。(詳細は省令で定められる。)
 - *但し、ア、イ及び③は常時100人以下の労働者を雇用する事業主においては公布日より3年以内に適用。

